

要 旨

1 作成の背景（本文1ページ参照）

現在、さまざまな領域でグローバル化が進展する中、官民の各分野において、国際ルールづくりに参画し、人類社会に貢献できる人材の育成が求められるが、日本からの法律家としてのグローバル人材の供給はまだ十分でない。

本分科会は第20期以来、①「国際的な課題への日本（法）の対応」および②「国際化に対応する教育の不足」を解決の必要な問題としてきた。①を担うグローバルな人材の養成には、外国語能力だけでなく、国際関係法・外国法に関する相当の素養のある専門家がかかわる必要があるが、教育の担い手が不足しているという②の問題がある。

グローバル化時代に望まれる法律家は、国際ルールの形成に貢献するとともに、国内ルールの策定・実施にあたってはグローバルな視点に立たなければならない。歴史的に外国法や国際的議論の影響を受けながら発展してきた日本法に関する知見を有するとともに、人類的課題への取組みには自然科学も含めた法学以外の知見の接合も必要であることへの洞察をふまえることのできる人材が求められる。

2 現状及び問題点（本文5ページ参照）

グローバル化に対応する法律家人材の不足を解消するには、法学教育において若手人材の関心と能力を高めることが考えられるが、国際関係法・外国法・比較法科目の法学部・法科大学院での履修者および司法試験での選択者が少ない。グローバル化に対応する授業には、語学能力とともに、国際関係法・外国法の素養のある教員が必要だが、現実に授業を担当できる人数は不足している。

この現状は複合的な構造的要因、特に諸組織の財政的な制約によって規定されている面が大きい。しかし、限られた人的・物的リソースの中にあっても、改善の工夫が考えられる点もある。

3 見解の内容

(1) 大学における授業担当教員の増強（本文7ページ参照）

- ・ 国際化に対応する法律家人材を育てる授業を担当できる人材を確保するため、大学は、内外の大学、公的機関、民間組織とのいっそうの連携を図ることが考えられる。教員の採用においても、グローバル化対応授業を担当することを前提にし、その必要性を、法学教員を志す若手研究者にも周知することで、課題に取り組む潜在的な人材の数を増やしていける可能性がある。

(2) 学生教育のグローバル化 (本文 9 ページ参照)

- ・ 法科大学院では、司法試験の準備に学生の意識が集中しがちである。そのため、法律家養成の教育のグローバル化は、学士課程から博士課程までを含む教育課程全般で取組みの対象としなければならない。すなわち、学士課程の段階から、外国法・比較法の素養を涵養する授業展開に努めるとともに、人類が抱える新たな国際的諸課題と国際関係法の重要性を伝えるべきである。大学院段階では、将来法学教員となる若手研究者自身のグローバル化教育の能力を高めるため、留学を含む海外派遣や研究成果の海外発信に対する支援の強化が推奨される。
- ・ 英語を用いた実践的体験を積ませる機会を教育の各段階で拡大し、将来の発信力の強化につなげることが望ましい。

(3) 官民における法律実務家のグローバル化 (本文 14 ページ参照)

- ・ 大学には、大学院の課程やその他の研修機会を提供して、法律実務家のリカレント教育を積極的に実施し、グローバル化教育を図る努力が望まれる。人類的課題に対処する政策形成や国際競争力ある法実務の担い手として、博士学位 (LL. D.、Ph. D.、S. J. D.) を有する実務家の育成も求められる。
- ・ 大学以外の法曹各分野の組織、行政、民間企業においても、研修等を通じ人材のグローバル化を図ることが求められる。
- ・ 国、研究教育機関、弁護士会等の相互協力を有機的に展開し、途上国に対する法整備支援の担い手を拡大することに多面的なメリットがある。

(4) 留学生教育 (本文 18 ページ参照)

- ・ グローバル人材として留学生も重要な地位を占める。歴史的に複数の法伝統を継受している日本で学ぶメリットを生かして優秀な学生を集めるため、大学はこれを広く発信する英語教育を活用する工夫を検討すべきである。学位を取得する正規課程以外に、交換留学や短期研修などによっても、留学生を積極的に受け入れることができる。
- ・ 英語による教育の拡大を、留学生の出身国の多様性を高める手段の一つとして位置づけ、全世界から学生の集う真のグローバル化教育を目指すことが望ましい。日本出身者と留学生に単純に二分されない出自の学生が増加していることもふまえ、将来の教育には、多様性を前提にした視点が望まれる。
- ・ すでに出身国で法学の学位を取得している学生が学際的な研究に取り組む際の指導にあたっては、他分野の専門家との積極的な協力が必要である。大学をまたぐ協力も有益なものとして推奨される。